

アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名[県立西宮今津高校] 担当教諭[浅野吉英、佐藤万寿美]			
生徒の学年・クラス・参加人数:美術部員[1年1組2名][1年3組4名][1年6組1名][2年3組4名]			
実施期間:2010年 9月 ~2011年3月			
交流: 国名[インドネシア] 学校名[国立キンタマーニ第一高校] 学年[2] 担当教諭[イ・デワ・マデ・オカ 先生]			
実施教科・時数	教科	単元名	時数
アートマイルに関連した時間すべて(総合は外国語活動、環境など中身がわかるよう)。必要に応じて行を追加してください。	美術部		
	情報	情報コミュニケーション	

■作品について教えてください。

題(テーマ)	自然・鳥・花・海・山
絵に込めたメッセージ	西宮とバリ島の空、山、海、自然、花、鳥のある風景を合体させて、南国の豊かな自然と甲子園球場や湾岸道路、西宮エビスさまなどを登場させた不思議な景色を作り出そうと構想した。距離は離れていても西宮とバリ島の空はつながり、鳥が行き来する風景を描くことで、テレビ会議を重ねてつながるお互いの関係をコミカルに描いた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	6月	アートマイルヘントリ (本校美術部)	昨年から交流しているキンタマーニ高校とアートマイルにエントリーすることを相談し、美術部が担当をすることになりました。	
情報収集	夏休期間	美術部の部活動 相手の国や地域の情報を調べた	バリ島のウブド地域の芸術・文化についてたいへん興味をもつきっかけとなりました。	
テーマ検討	9月	●9月2日のTV会議 双方でテーマ決定 ●9月中旬までに、原画の完成	9月2日、生徒たちはTV会議で、テーマ決めを行いました。 「鳥・花・自然」にテーマが決定しました。	
制作	9月から1月	●9月28日のTV会議では、担当教員が生徒の原画を持参し、相手校の美術部に説明をしまし、画材を渡しました。 ●10月には相手の原画がメールで送られてきました。 ●12月相手の壁画到着 ●1月末完成	9月28日のTV会議では、生徒が直接制作した原画について説明をしました。双方の理解が深まり、意欲が高まった様子でした。 ●11月4日のTV会議では、相手の原画の説明を聞き、本校生徒が質問をするなかで、構図の確認を進めました。	
鑑賞	2月完成	●2月5日の総合学科発表会において、壁画の展示をしました。 ●年度末まで生徒昇降口の展示パネルに1ヶ月常設展示し全校生に見てもらいました。	●3月23日のテレビ会議で完成作品をキンタマーニ高校の皆さんに見てもらいました。	

■学習目標と成果はどうでしょうか？（「重視」には指導にあたって重視したものを1位～5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1～5で評価してください。）

（5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった）

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル	3	5・4・3・2・1	テレビ会議の場面では簡単な日本語とイラストで伝えようとゆっくり話せるようになっていった。
情報活用能力(収集・発信)		5・4・3・2・1	インターネットで参考になる画像を収集した。
人間関係をつくる(交流相手・学級内)	4	5・4・3・2・1	皆で描きながら「ここ変やん。」と話し合っていくうちに部員同士が仲良くなっていった。
協同作業をする力(役割・段取り)	2	5・4・3・2・1	下絵を描いた生徒を中心に自然と役割分担が決まり放課後少しづつ毎日自分たちで取り組んでいた。
異文化の理解	1	5・4・3・2・1	キンタマーニ高校の描いた山の形や植物の葉っぱ、花が不思議な形をしていて「これは何やろう？」と声が上がった。
自文化の理解・自分を見つめる	5	5・4・3・2・1	西宮らしいものは何か？ という問いを立てて皆で納得したものを描いた。
表現力		5・4・3・2・1	大きな画面に描けた。
学習を追究する意欲		5・4・3・2・1	佐藤先生にもらったバリ島の伝統絵画の資料を読んでいた。
作品を鑑賞する力		5・4・3・2・1	交流相手先の描いた絵の色使いや筆跡などが自分たちがあまり使わない色であったり、アニメ的でない描き方をしているのに新鮮な驚きを示した。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
バリ島の素朴でまじめな高校生が存在をテレビ会議を通して感じ取れたこと。絵の中に日本と異なる文化を感じ取れたこと。自分たちの描く絵がアニメの圧倒的な影響を受けていると自覚できたこと。作品が日本からバリ島、バリ島から日本へと行き来してテレビ会議の交流相手を具体的な壁画として実感できたこと。	左右2分割以外の構成を提案するとともに異文化同士がぶつかり合う緊迫した作品に仕上がったかもしれない。 テレビ会議ではキンタマーニ高校の生徒がそれほど日本語を話せないのも、共同壁画のコンセプトの共有が難しかった。

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
総合学科発表会で展示 生徒昇降口前で展示 本校 HP での紹介	・バリ島って何処？ と、インドネシアへの関心が深まった。 ・テレビ会議で国際交流を日常的にしていることから情報教育の進んだ学校というイメージを持ってもらっている。

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

・テント地用のペンキが交流相手先とこちらの分で計2セット欲しかった。